

## 【必修】今求められる教育のあり方と支援

## 【選択必修】国内外の教育事情とその変化

■期日 【必修】今求められる教育のあり方と支援 令和3年8月16日(月)

【選択必修】国内外の教育事情とその変化 令和3年8月17日(火)

■主な対象 幼稚園、小学校、中学校・高等学校保健体育教諭

■定員 115名

■会場 たまプラーザキャンパス

■応募期間(仮申込) 令和3年4月16日(金)10:00~4月20日(火)23:59

■受講料 1万円

## 【必修】今求められる教育のあり方と支援

■時間数 6時間【必修領域】「全ての受講者が受講する領域」

### ■講習内容

世界がグローバル化し一国の事情だけでの教育は困難となっている。教育の普遍性が求められるが、特に倫理、人権領域に係る領域は文化的背景を越えたスタンダードが必要となってくるであろう。国際的広がりと共に近年は個人の多様性も叫ばれている。実社会で活用できる資質・能力の育成とともにインクルーシブ教育が注目され、その理解と普及の在り方が研究されている。本講義では、このような今日的教育課題を分かりやすく解説し、求められる「主体的・対話的で深い学び」について紹介する。

### ■担当講師

田沼 茂紀 國學院大學人間開発学部教授

田村 学 國學院大學人間開発学部教授

### ■シラバス

講座名	グローバル化時代における学校教育のアプローチ
担当講師	田沼 茂紀
講座概要	<p>本講義では現代的な課題が山積する学校教育にあつて、子どもの学びを軸にした学校づくりをどう進めていくのかという視点と、教師の多忙化が慢性化している中で高度専門職としての自己研鑽をどう継続していくのかという視点を軸に展開していきたいと考える。具体的な講義の柱となる事項は、以下の5点である。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>①新学習指導要領（平成29年3月改訂）で目指している「生きる力」と資質・能力形成の在り方について</li><li>②わが国の学校教育が解決すべきこれからの課題と世界の教育動向について</li><li>③子どもの学びを育むためのカリキュラム・マネジメントの進め方について</li><li>④反省的実践家としての教師の専門性の高め方と実践的視点について</li><li>⑤特別支援教育や生徒指導の視点からの教育展開について</li></ol>
評価基準	本講義での学びを通して、①今日の学校教育の課題について、②教職の社会的使命と自己研鑽の必要性について、この2点について理解できたかを最後に論述してもらうことで評価とする。

講座名	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて
担当講師	田村 学
講座概要	実際の社会で活用できる資質・能力の育成に向けて「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められている。本講義では、具体的な学習活動における子供の姿を基に、期待される学びの姿を明らかにしていく。また、そうした姿が、どのような授業改善とカリキュラム・デザインによって生成されるのかを検討していく。授業改善については、知識が構造化され、駆動する状態になり、期待する資質・能力として機能していく状態をモデルイメージを通して学ぶ。また、カリキュラム・デザインについては、具体的な手順やポイントを明らかにしながら、カリキュラム・マネジメントの本質に迫っていく。
評価基準	本講義での学びの論述を評価する。

## 【選択必修】国内外の教育事情とその変化

■時間数 6時間【選択必修領域】「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

### ■講習内容

現代社会においては、子ども・保護者・家族のあり方の問題や課題が多様化、複雑化、深刻化してきている。国内外の教育事情や近年の教育現場の実情を踏まえて、最新の学校教育のあり方や子ども支援の仕方について提案する。そして学校組織、教育行政、教育委員会など、近年の教育をめぐる状況の変化を多角的視点から考察する。

### ■担当講師

鈴木 みゆき 独立行政法人 国立青少年教育振興機構 理事長

渡邊 雅俊 國學院大學人間開発学部教授

小笠原 優子 國學院大學人間開発学部教授（特別専任）

吉永 安里 國學院大學人間開発学部准教授

### ■シラバス

講座名	子どもの教育環境と生活習慣～多様化する教育課題の中で～
担当講師	鈴木 みゆき
講座概要	規則正しい生活習慣の形成は、心身の健康と発達に重要な役割を果たす。しかし、コロナ禍で休校・休園等により、夜更かしや運動不足等様々な課題を抱えることになった。再度基本的な生活習慣の意味を脳科学の視点から捉えなおし、子ども達の発達を支える環境をどう作っていくか、また家庭や地域の教育支援として養育者が取り組みやすい改善の仕方はいか、さらに子ども自身が主体的に生活習慣確立に取り組むにはどうしたらよいか、を講義の中で解説する。と共に、各学校現場において、 1. 我が国における子どもの生活習慣の課題

	<p>2. 生活習慣形成の意義～認知及び非認知的能力を支える生活習慣</p> <p>3. 生活習慣の課題と教育支援について の方策を検討していく。</p>
評価基準	授業終了後小テストを行う。

講座名	子どもの「心の能力」を教育する理論と方法
担当講師	渡邊 雅俊
講座概要	<p>現代の子どもたちが直面するストレスやプレッシャーは、以前の世代と比べて、はるかに増えていることが明らかになっています。そのため、子どもはストレスへの対処方法や感情のコントロール、対人関係スキル、自己効力感、楽観性といった「心の能力」を持つ必要が高くなっています。「心の能力」の弱い子どもの多くは、対人トラブルや不登校、いじめ、学業の意欲低下といった問題に悩んでいます。この講習では、「心の能力」のしくみと現代の子どもの特徴、教師や親がどのように教えていけばよいのかについて、以下の項目に沿ってお話します。</p> <p>①「心の能力」のしくみ ②現代の子ども「心の能力」の特徴 ③「心の能力」の教え方</p>
評価基準	授業終了後に簡単な振り返りを行います。

講座名	学校を巡る近年の状況の変化—学校を巡る問題と学校内外の連携協力
担当講師	小笠原 優子
講座概要	<p>大きく社会が変化する中、子どもたちに自ら判断し行動する力を育み、子どもたちを見守り育てる環境づくりをするためには、学校内外の連携協力の見直しと改善が必要である。学校を巡る状況の変化を、子どもたちの姿から、また家庭や地域社会の教育に対する関心等からとらえ、学校と地域社会が共に子どもたちを育てる教育の果たす役割について考える。どのように子どもたちのための環境づくりを行い教育の質の改善や説明責任を果たしていくべきか、学校の課題解決に向けての対応をどのようにすべきか、次の内容について考える。</p> <p>(1) 学校を巡る「危機」の状況と危機管理 (2) 学校を巡る問題と学校内外の連携協力</p>
評価基準	

講座名	学校(幼稚園)を巡る近年の状況の変化—子どもが主体性を発揮できる保育・授業を考える—
担当講師	吉永 安里
講座概要	<p>高度情報化社会、多文化共生社会等々の急激な社会の変化が進む現代社会で、子どもたちが身に付けるべき力も変化してきている。平成29年の学習指導要領、幼稚園教育要領の改訂では、子どもが主体性を発揮しながら知識・技能(の基礎)だけでなく、思考力・判断力・表現力等(の基礎)、学びに向かう力・人間性等の資質・能力を幼児期から高校卒業まで一貫して育ていけるような指導が求められるようになった。本講義では、近年の学校(園)を</p>

取り巻く社会の変化や教育事情を整理し、子どもが主体性を発揮できるようなこれからの学校教育のあり方や子ども支援の仕方について提案する。そして学校（園）運営や組織づくり、学校（園）・家庭・地域社会との連携など、近年の教育をめぐる状況の変化を多角的視点から考察する。

以下の内容に沿って講義する。

1. 現代社会を生きる子どもたちの姿と、学校教育を取り巻く教育事情
2. 主体性を発揮できるこれからの学校教育のあり方
3. 主体性を発揮できる保育・授業を考える

評価基準

授業終了後簡単な振り返りテストを行う。